D-station 30シリーズ

電話機の使いかた

技術基準適合認証品

このたびは、「D-station 30 シリーズ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書には本製品を安全に使用していただく為の重要な情報が記載されています。
本書は、実際に電話機を使っていただく方を対象に書かれています。
本製品を使用する前に本書をよく読み、理解した上で、お使いください。
また、本書は本製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。
富士通は、使用者および周囲の方に人身損害や経済的損害を与えないために細心の注意を払っています。本書にしたがって本製品を使用してください。

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、当社の担当営業までご相談ください。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

（注）カールコードレス D-station32CC は、電波を使用しているため該当しません。

- この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX 通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきまして万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社窓口等へお申しつけください。
- 製品の改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 付属品一覧表

本製品には以下の付属品が添付されています。
付属品が全て入っているか確認してください。

品　名	数量	備　考
本書（電話機の使いかた）	１冊	
カラーシート	２枚	E-200系　１枚　注１ IP Pathfinder系　１枚
電話機コード	１本	
モジュラローゼット	１個	※FC776PB：終端抵抗（100Ω）入り
キー表示シール	１枚	
ACアダプタ	１個	D-station32CCのみ添付
電池パック	１個	D-station32CCのみ添付
内線番号表示ラベル	１式	D-station32CCのみ添付

注１：E-200系　ES200シリーズ全機種、E-200シリーズISS全機種、E-210、CS100、CM50、MS16
IP Pathfinder系　IP Pathfinderシリーズ全機種、ES3300 i-force全機種、E-3200シリーズISS全機種、E-350、E-3900シリーズCCS全機種、E-390

● 本書について

本書には、本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、本書を熟読してください。特に本書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で本製品を使用してください。また、本書は大切に保管してください。

ここでは主な電話機の使いかたの一部をご説明しております。フリーアサインボタン数、ディスプレイ表示内容等は、機種により異なりますので詳しくは E-200 系／ IP Pathfinder 系用に添付されている取扱説明書をご覧ください。

● 警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないために、以下の警告表示をしています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	「⚠危険」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うような切迫した危険があることを示しています。
⚠警告	「⚠警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。
⚠注意	「⚠注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ること、当該製品自身、またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

●安全上の注意事項

電話機／ACアダプタについて以下の注意事項をお守りください。

尚、以下の使用条件を厳守しなかった場合、お客様および周囲の方の身体や財産等、また、環境破壊による第三者の身体や財産等に予期しない損害を生じる恐れがあります。

⚠危険

（1）使用方法について

使用上の注意

・ 本電話機に使用するACアダプタは、指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用すると、発熱、破裂させる原因となります。
指定アダプタ：FC740BS2AC（FC779AP1 アナログモデムポート用）
FC164H12（FC779BM ボタンモジュール用）
FC820AC3（D-station32CC 用）

⚠警告

（1）使用方法について

予想される誤った使い方の注意

・ 電話機にお茶やコーヒーなどが入ったり、また濡らさないように、ご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
・ 電話機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
・ 電話機には、殺虫剤やヘアースプレー等がかからないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。
・ 電話機の開口部から、内部にクリップやホッチキスの針等の異物を差し込んだりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
・ 電話機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
・ 電子レンジや高圧容器に、ACアダプタや電話機本体を入れないでください。ACアダプタ、電話機本体の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。
・ 絶対にカールコードレスD-Station32CCの充電端子をクリップやホッチキスの針等の金属片で接触しないでください。プラスとマイナス端子がショートして、発熱、故障、けがの原因となります。
・ 引火・爆発の恐れがある場所での使用および充電をしないでください。カールコードレスD-Station32CCは防爆型ではありません。プロパンガス・ガソリン等・引火性ガスの発生するような場所では絶対に使用および充電しないでください。

- カールコードレスD-Station32CCは、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う機器の近くで使用しないでください。電子機器が誤動作したりするなどの影響を与える可能性があります。

  ご注意いただきたい電子機器の例：
  補聴器、ペースメーカ、その他の医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
  ペースメーカ、その他の医療用電子機器をご使用される方は、当該の各医療用電子機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご連絡ください。

分解・改造の禁止

- 電話機を分解、改造しないでください。また、中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

接続機器の注意

- 接続コードには、本電話機以外の機器、また、改造された機器をつながないでください。火災、感電、故障の原因となります。

配線ケーブル類の注意

- 接続コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 接続コードの上に重いものを乗せないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 接続コードを熱器具に近づけたり、燃えやすい物を置いたり、加熱させたりしないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- 接続コードは折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

(2) 保守・点検について

点検（保守者）の制限・禁止

- 内部の点検・修理はお買い上げの販売店に依頼してください。ご自分で行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- 万一、煙が出る、変なにおいがした場合には直ちに充電をやめ、電話機本体から電話機コード、ACアダプタをコンセントから抜いて、煙がでなくなるのを確認してお買い上げになった販売店等へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠注意

(1) 使用方法について

使用環境の注意

- 電話機を直射日光の当たる所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機を極度に温度の高い所、低い所、温度変化の大きい所に置かないでください。（温度５～35℃範囲の場所に設置してください）故障の原因となることがあります。
- 電話機を浴室等の湿気の高い所に置かないでください。（湿度25～80%範囲の場所に設置してください）火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機をホコリの多い所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機をジュウタンやカーペットのような静電気の発生しやすい物の上に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機を硫黄ガスや車の排気ガス等、特殊ガスが当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機を海風が当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

使用上の注意

- カールコードレスD-Station32CCのアンテナの先端が目にささらないようにご注意ください。万一、アンテナが目にささってしまったときは失明のおそれがあります。直ちに医師の治療を受けてください。
- アンテナを持たないでください。雑音が増えたり、故障の原因となります。

予想される誤った使い方の注意

- 電話機の上に物を置いたり、周辺に倒れやすい物を置かないでください。けが、故障の原因となることがあります。
- 電話機を壁掛けにして使うときは、落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 電話機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 電話機を通路に置かないでください。けがの原因になることがあります。

(2) 保守・点検について

点検・清掃について

- 電話機に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。放置すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電話機が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー等の有機溶剤は避けてください。電話機が腐食、溶解して火災、感電、故障の原因となることがあります。

(3) 製品の廃棄

製品廃棄時の注意

- 電話機を廃棄する時は、一般廃棄物として捨てないでください。廃棄時は管轄の自治体（区市町村役場等）に連絡して、しかるべき業者に廃棄を依頼してください。守らないと環境を破壊して、ご自身あるいは第三者の身体や財産に損害を与える原因になることがあります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックは、誤った取り扱いをすると、爆発、発熱、破裂、液漏れ、発火の恐れがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

◇電池パックについて

・電池パックは必ず専用のもの（FC741BP5）をお使いください。

・電池パックはリチウムイオン電池です。この電池パックはリサイクル可能な貴重な資源です。不要になった電池のリサイクルに際しては、端子をテープなどで絶縁し、リサイクル協力店にある充電式電池回収箱に入れてください。

⚠危険

（1）使用方法について

使用上の注意

- 電池パックが子機本体へ接続するときにうまく接続出来ない場合は無理に接続しないでください。電池パックを漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。失明などの原因となります。
- 電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用、放置しないでください。電池パックを漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックの端子をショートさせないでください。電池パックを漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。
- 端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 電池パックを火の中に投入しないでください。電池パックを発火、破裂させる原因となります。
- 分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。電池パックを漏液、発火、破裂させる原因となります。
- 電池パックは指定したもの（FC741BP5）をお使いください。指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

⚠警告

(1) 使用方法について

使用上の注意

- 電池パックの使用、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などいままでと異なるときは、子機を親機から取り外し、使用しないでください。そのまま使用すると、電池パックを漏液、発火、破裂させる原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害をおこす原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が終了しない場合は、充電をやめてください。電池パックを発火、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを電子レンジや高圧容器に入れないください。電池パックを発火、発熱、破裂させる原因となります。

⚠注意

(1) 使用方法について

使用上の注意

- 水、ペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。電池パックを発熱、発煙させたり、サビの原因となります。
- 電池パックの充電温度範囲は、5～35℃です。この範囲以外で充電したりすると、電池パックの漏液、発熱や性能、寿命を低下させる原因となります。
- 電池パックを直射日光の強いところや炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。電池パックの漏液、発熱や性能、寿命を低下させる原因となります。
- 電池パックを使用しない場合は、子機本体からはずし、乾燥していて、温度の低いところに保管してください。また、長期間使用しない場合は、電池パックを全て使い切った状態で保管してください。
- 不要になった電池パックを一般のごみと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、リサイクル協力店にある充電式電池回収箱に入れてください。
- 電池パックを交換する場合には、お買い上げの販売店等へ依頼してください。
- 子機に対して無理に荷重をかけないでください。無理に荷重をかけますと電池フタが外れ、けがをする恐れがあります。

～ 目 次 ～

〈E-200 系用電話機の外観図及び各ボタンの説明〉

※E-200系用：ES200シリーズISS全機種、E-200シリーズISS全機種、E-210、CS100、CM50、MS16

〈IP Pathfinder系用電話機の外観図及び各ボタンの説明〉

フリーアサインボタン

局線の他、ワンタッチ、ピックアップ、待合せ、不在転送、会議などの機能ボタンとして使えます。

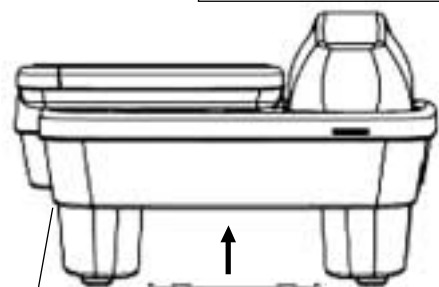
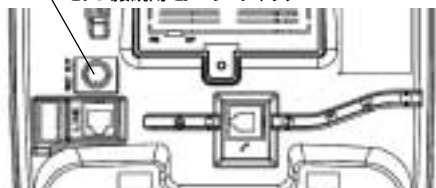
調整ボタン

𝄞　呼出音が鳴っているときに呼出音の音色を切り替えることができます。

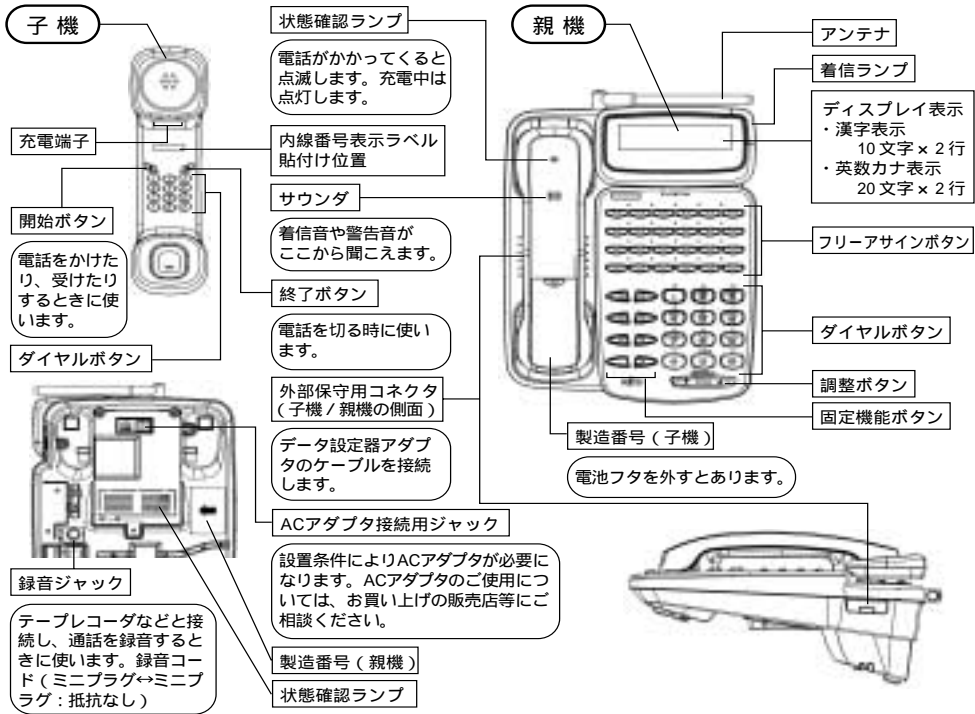
▲▼
- ■操作をしていない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調整できます。
- ■通話中に、相手の声の大きさを調整できます。
- ■🔈(スピーカボタン)を押したときに、スピーカからの音量を調整できます。
- ■呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調整できます。

ダイヤルボタン

固定機能ボタン

リリース	受話器を置かずに電話を切り、続けて次の相手にダイヤルすることができます。
再　呼	最後にかけた相手（内線・外線・専用線）を呼び出すことができます。
転　送	通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号を押します。
保　留	通話中の相手を保留することができます。
サービス	ワンタッチダイヤルなどを登録するときに使用します。
音声呼	音声で相手を呼び出すことができます。（相手の電話機は同一構内の専用電話機に限定）
ミュート	こちらの声を相手に聞こえないようにします。
🔈	受話器を上げずに番号を押すことができます。また、相手がでたら受話器を上げずにそのまま会話することができます。(ハンズフリー機能：FC776Dのみ)

※IP Pathfinder系用：IP Pathfinder系全機種、ES3300 i-force全機種、E-3200シリーズISS全機種、E-350、E-3900シリーズCCS全機種、E-390

〈カールコードレス D-station 32CC の外観図及び各ボタンの説明〉

※フリーアサインボタン、調整ボタン、固定機能ボタンについては、P.10 ～ P.11 をご覧ください。

●ランプ機能一覧

ランプ状態 ＼ ランプ名称	消灯時	赤色		緑色	
		点滅	点灯	点滅	点灯
状態確認（子機）	通話中／非充電中	着信中（早い点滅） 圏外（遅い点滅）	充電中		満充電
状態確認（親機）	給電無し	親機故障中	親機起動時	正常状態	

※子機の着信について

- ●子機が親機から外れている場合のみ、子機の着信音が鳴ります。子機が親機に置かれている時は、子機の着信音は鳴りません。
- ●着信音量切替はありません。

※内線番号表示ラベルについて

カールコードレスD-station32CCには、親機・子機の組み合わせを分かりやすくするために内線番号表示ラベルを添付しています。内線番号表示ラベルに内線番号等を記入し、所定の場所に貼ってお使い頂くことをおすすめします。

※製造番号（CS-ID）について

カールコードレスD-station32CCは、他のカールコードレス電話機との混信防止のためにＩＤコード（識別符号）を採用しています。このため、ペアの親機と子機でなければ使用できません。親機、子機の製造番号（CS-ID）が合っていることを確認してください。

カールコードレス D-station 32CC について

傍受の可能性について

カールコードレスD-station 32CCで採用した盗聴防止機能は、音声を特殊加工して電波を送信することによって傍受による通話内容の漏洩を防ぐものですが、第三者が悪意をもって特殊手段を講じた場合には、盗聴を完全に防ぐものではありません。
このような場合は他の D-station 30 シリーズのご使用をおすすめします。

通話できる範囲

通常、子機が約50mまで親機から離れた地点で通話することができますが、周囲の障害物などの影響によっては50mより大幅に短くなることがあります。また親機と子機の間に金属やコンクリートの壁などがあると通話出来ない場合があります。その場合には、子機の向きや、お話している場所を変えることによって改善される場合があります。

電波雑音について

パソコン、ワープロ、ファクシミリ、ビジネスフォン、CB 無線、アマチュア無線、インバータ式蛍光灯などは雑音電波を発生します。
また、車の交通量が激しい道路に近い場所は電波雑音が多いので、これらの近くでのご使用は避けてください。雑音が入ったときには、子機の向きや、お話している場所を変えることによって改善される場合があります。

「プップップッ」と圏外アラーム音が鳴ったら

通話中に親機から離れ過ぎると“ プップップッ ”と圏外アラーム音が鳴ります。親機に向かって近づいてください。
また、待受状態時に子機が圏外にあった場合には、着信があっても子機は鳴りません。親機が見える範囲にてご使用ください。

設置について

下記の様な環境状態では通話距離が大幅に短くなったり、発信や着信の動作が困難になる場合があります。あらかじめ通話範囲を確認の上ご使用ください。
①周囲にロッカーや鉄製の扉などがあると、カールコードレスとしての性能が十分に得られない場合があります。
②親機と子機の距離が近い場所でも、周囲の電波雑音や反射の状態によってはノイズが大きくなったり、通話ができない場所があります。
③複数のカールコードレス（他社製品含む）を近接して設置するとお互いに電波の影響を受け、同時使用できない場合があります。（親機どうしを約 60cm 以上離してください。）
複数のカールコードレス／ディジタルコードレスシステムを併用する場合は、お買い上げの販売店等にご相談ください。
④本電話機に他の電話機を近づけると電波の混信によって近づけた電話機でノイズがのる場合があります。本電話機から他の電話機は、60cm 程度離してご使用ください。

子機が親機から離れている時の着信について

子機が親機から離れている時に着信があった場合、電波状態によっては子機の着信音が鳴らない場合があります。この時、親機の着信音は鳴っていますので親機のそばにいる方はピックアップ等の代理応答での運用をしてください。

通話時の混信について

カールコードレス D-station 32CC は電波を使用しているため、まれに混信することがあります。混信した場合には、一度子機を親機へ戻してから再度子機を取り上げてご使用してください。

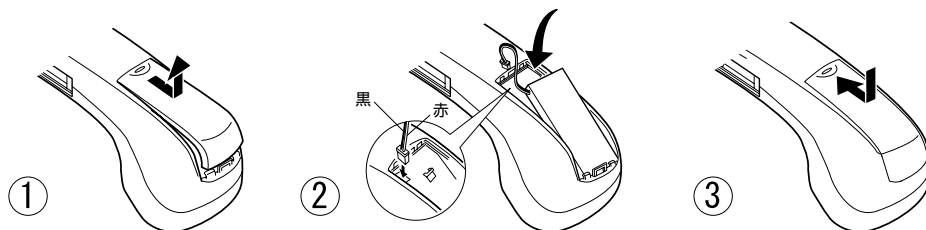
電池パックの取り付け方<子機>

①電池フタを下に押しながら、矢印の方向に取り外します。

注)電池フタは容易に外れないよう固くしてあります。電池フタを外す際にはけがなどをしないようご注意ください。

②電池パックのコネクタをコードの色の向きに注意し差し込みます。

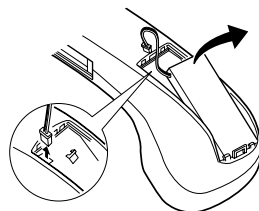
③電池フタを取り付けます。

注) 電池フタを取り付ける際には、手を挟まないようご注意ください。
電池パックのコードを挟まないようにご注意ください。
電池フタがきちんと取り付けられていることを確認してください。

電池パックの取り外し方<子機>

①電池フタを取り外します。

②電池パックのコードを注意して引き抜きます。

注) コードの部分は無理に引っ張ったり、よじったりしないでください。

③電池フタを取り付けます。

充電のしかた

●子機を親機に確実に置いてください。子機の状態確認ランプが点灯（赤）します。

●はじめてお使いになるときは、約10時間以上充電（状態確認ランプ「緑色」に点灯するまで）してください。すぐに使用すると、通話が切れる場合があります。

●充電端子は、いつもきれいにしておいてください。汚れていると、充電できないことがあります。汚れたら綿棒などを使って、ふき取ってください。洗浄液などは使わないでください。

●通話中や待ち受け中に電池が切れると「ピピピ」とアラームが鳴り、約1分で電源が切れます。通話中の場合は電話が切れますので、お話しを終えて充電してください。

●充電完了したあとでも、一定時間以上親機に置いた場合、再充電のため状態確認ランプが赤色に点灯することがあります。

●子機を親機へ置いた後、電池が空の場合には状態確認ランプが点灯(赤)するまで数分かかることがあります。

●充電時間：約10時間、待受状態：約100時間、連続通話：約5時間

使用上の注意

●本電話機の子機は充電が必要です。充電が切れた場合には通話不能となります。お使いにならないときは必ず親機に戻し、充電してください。（子機動作電圧：約3.4V～4.2V）
●子機のダイヤルボタンを押してもキータッチ音が鳴らないときは充電してください。
●電池パックは通常1年間使用できますが、使用条件によって寿命が変わります。長時間充電してもすぐ充電容量がなくなる場合は新しい電池パック（FC741BP5）と交換してください。
●電池パックを交換する場合には、お買い上げの販売店等へ依頼してください。

クイック通話について

●子機が親機の上に置かれているときは、子機を親機から取り上げるだけで電話をかけたり、受けたりすることができます。
●通話終話後、子機の終了ボタンを押さずに親機へ戻すだけで通話が切れます。

その他

●親機のアンテナはいつも立ててご使用ください。立てないと十分な性能が得られません。
●本電話機側面（親機／子機）の外部保守用コネクタのふたは保守工事以外は外さないでください。また親機の外部保守用コネクタのふたを外すと、押しボタンがありますが保守者以外は絶対触らないでください。
●親機から離れたところ（圏外付近）などで通話すると雑音が入る場合があります。電波状態の良いところで通話してください。
●電波を使用しているため、電話をかけたり受けたりするのに約2～3秒かかる場合があります。
●子機を使用して電話をかける場合には、必ず発信音を聞いてからダイヤルをしてください。誤接続の原因となります。
●着信音が鳴ってすぐに電話を受けると、最初に「プップッ…」と音が鳴った後に通話状態となる場合があります。通話状態になってから、相手とお話しください。
●子機を別の親機へ誤って置いた場合、別の子機は通話が切れてしまいます。親機・子機の組み合わせを間違えないために、内線番号表示ラベルを貼ってお使い頂くことをおすすめします。
（内線番号表示ラベルを貼っていないときは、親機、子機の製造番号でも確認できます）
●ミックスダイヤル（子機と親機の複合ダイヤル）の使用はしないでください。誤接続の原因となります。
●その他電話機の操作方法については、操作のしかた（p.16～p.27）をご覧になってご使用してください。
●本電話機を接続の場合は、着信音“あり”の設定をお薦めします。
●本電話機に給電してから使用可能になるまで約30秒かかります。約30秒経過後に子機の状態確認ランプが赤点滅していないことを確認してからご使用してください。

アラーム音について

鳴り方	状　　態
プップップッ	圏外アラームです。通話中に親機から離れすぎていますので親機に近づいてください。
ピピピ	子機の電池パックの容量が残り少なくなっています。 子機を親機へ戻し、充電してください。

停電について

●ローカル給電（ACアダプタ使用時）の場合は停電時に使用できません。

操作のしかた

※ご使用の電話機がE-200系用かIP Pathfinder系用かで操作方法が異なります。
P.10～P.12をご確認の上、ご使用してください。

記号の意味　：受話器を上げます。　5 ：番号を押します。(例：短縮発信特番)
　：受話器を戻します。　(この番号をサービス特番といいます)
　：ボタンを押します。　〈 〉：電話機の状態を表します。

電話をかける

※D-Station32CCは、子機が親機の上に置いてあるとき、子機を上げて子機から相手番号をダイヤルします。子機が親機の上に置かれていないときは、開始 を押して相手番号をダイヤルします。

内線へかけるとき　(例：2001)

相手番号をダイヤルします。

〈発信音〉2001〈呼出音〉〈通話中〉

外線へかけるとき
(例：外線発信特番０ 03-1234-5678)

①外線発信特番と相手番号をダイヤルします。

〈発信音〉0〈局の発信音〉0312345678〈呼出音〉〈通話中〉

②直接発信するとき（局線ボタンがある場合）
局線を押して、相手番号をダイヤルします。

〈発信音〉局線〈局の発信音〉0312345678〈呼出音〉〈通話中〉

専用線へかけるとき
(例：専用線番号711　内線3201)

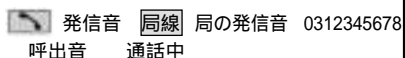
専用線番号と相手番号をダイヤルします。

〈発信音〉711 3201〈呼出音〉〈通話中〉

簡単にダイヤルするとき

受話器を上げずにかけるとき　(例：2001)

スピーカボタンを押してからダイヤルします。

〈発信音〉2001〈呼出音〉〈通話中〉

もう一度同じ相手にかけるとき

再呼を押すと、最後にかけた相手にかけられます。

〈発信音〉再呼〈呼出音〉〈通話中〉

音声で呼出すとき　(例：2001)

相手番号と音声呼を押すと、音声で呼べます。

〈発信音〉2001〈呼出中〉音声呼〈音声呼出〉

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

長い電話番号も短い操作で

短縮ダイヤルを使うとき
（例：短縮発信特番５、短縮番号13）

①個別短縮ダイヤル（E-200系）
　可変短縮ダイヤル（IP Pathfinder系）
（電話機毎に自由に短縮ダイヤルを登録できます。）
　短縮発信特番と短縮番号をダイヤルします。

〈発信音〉５　13〈呼出音〉〈通話中〉

●登録するときは、この後の“短縮ダイヤルを登録するとき”（P.22）を参照してください。

②共通短縮ダイヤル（E-200系）
　固定短縮ダイヤル（IP Pathfinder系）
（例：短縮発信特番６、短縮番号23）
　短縮発信特番と短縮番号をダイヤルします。

〈発信音〉６　23〈呼出音〉〈通話中〉

●登録・変更は電話機からはできません。

ワンタッチで相手を呼出すとき
ワンタッチを押すだけです。

ワンタッチ〈呼出音〉〈相手応答〉〈通話中〉

●登録するとき(例:外線発信特番０ 03-1234-5678)
1807 ワンタッチ ０　0312345678　ワンタッチ
（確認音）（E-200系）

サービス（上下）ワンタッチ ０　0312345678
サービス（IP Pathfinder系）

相手が話し中のとき

別の内線を呼出すとき
（例：3001が話し中で、3002へ変更）
3001へダイヤルします。

〈発信音〉3001〈話中音〉2〈3002の呼出音〉〈通話中〉

相手の通話が終了するまで待つとき
（例：4001が話し中）

①待合せを登録するとき待合せを押します。

〈発信音〉4001〈話中音〉待合せ〈確認音〉
↓相手が空きます。
〈呼返し〉〈呼出音〉〈通話中〉

②待合せ登録を解除するとき
〈発信音〉待合せ〈確認音〉

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

電話に応答します

自分の電話機が鳴ってるとき

受話器をあげて応答します。

〈通話中〉

内線と局線のどちらにも着信がある場合には、受話器をあげる前に局線または、内線を押してから受話器をあげると、その着信に応答できます。

※D-Station32CCは、子機が親機の上に置かれていないとき、開始を押して応答します。

他の電話が鳴ってるとき

（同一ピックアップグループ内のとき）

ピックアップを押して、応答します。

ピックアップ〈通話中〉

局線表示盤に着信したとき

局線表示盤のランプが点滅（着信表示）したとき。

応答を押して、応答します。

〈着信表示〉 応答〈通話中〉

通話中の相手を保留又は転送します

遠くの人に転送するとき（例：3001へ転送）

転送を押して、転送先内線番号をダイヤルします。

〈通話中〉転送〈発信音〉3001〈呼出音〉

〈応答後〉

近くの人に転送するとき（例：2001から転送）

保留１を押してグループ内の相手に口頭でグループ保留番号を知らせます。

●転送するとき

〈通話中〉保留１〈１番を伝える〉

●保留中の相手と話すとき

保留１（赤色点滅しているボタン）〈通話中〉

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

他の電話機に自動的に転送させるとき
（例：3001へ転送）

席を離れるときなどに、登録しておきます。

●登録するとき

〈発信音〉不在転送 3001〈確認音〉

（転送先番号）

●解除するとき

〈発信音〉不在転送〈確認音〉

三人で話すとき（例：2002を参加）

通話中に会議 2002 とダイヤルします。
応答があったら、再び会議を押します。

〈通話中〉会議 2002〈呼出音〉

〈三人目の相手と通話中〉会議〈三者通話中〉

自己保留するとき

話し中に調べものや探しものをするとき、
保留を２回押し、受話器をおきます。
保留中に点滅をしているボタンを押し
受話器をあげると再び通話ができます。

〈通話中〉保留 保留 ・・・・

保留中

内線 〈通話中〉

通話中の相手に割込むとき
（例：2001へ割込み）

割込みを押して、相手に知らせます。
（E-200系）

話中呼を押して、相手に知らせます。
（IP Pathfinder系）

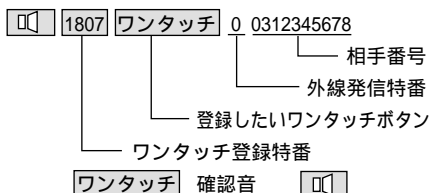
〈発信音〉2001〈話中音〉割込み
〈相手へ割込音送出中〉〈通話中〉
（E-200系）

〈発信音〉2001〈話中音〉話中呼
〈相手へ割込音送出中〉〈通話中〉
（IP Pathfinder系）

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

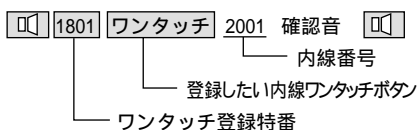
ワンタッチダイヤルを登録するとき

ボタンごとに、外線の相手番号や特番、内線番号、短縮番号を登録できます。ワンタッチで発信できるので便利です。

E-200系のとき

(1) 外線の相手番号、または特番の登録

ディスプレイ表示

★〔外線発信特番＋相手番号〕の他に特番を登録することができます。

(2) 内線番号の登録

ディスプレイ表示

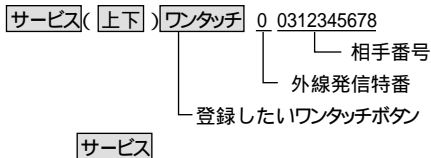
(3) 短縮番号の登録

ディスプレイ表示

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

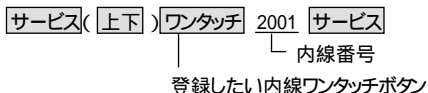
ワンタッチダイヤルを登録するとき

IP Pathfinder系のとき

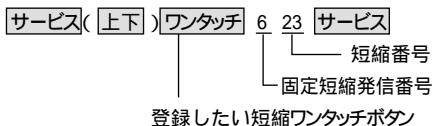
(1) 外線の相手番号、または特番の登録

ディスプレイ表示

0312345678_
ﾜﾝﾀｯﾁ登録

●ワンタッチボタン1個に2つの相手番号を登録できます。（切替えは、上下 で行います。）

(2) 内線番号の登録

ディスプレイ表示

2001_
ﾜﾝﾀｯﾁ登録

(3) 短縮番号の登録

ディスプレイ表示

623_
ﾜﾝﾀｯﾁ登録

※D-station31A2/31Bには 上下 ボタンはありません。ワンタッチでダイヤルを登録する場合には、上記説明で 上下 ボタンを抜いてください。

ワンタッチダイヤルを使ってかけるとき

●E-200系

ワンタッチ 〈呼出音〉 （受話器） 〈通話中〉

●IP Pathfinder系

（受話器） （上下） ワンタッチ 〈呼出音〉 〈通話中〉

又は

（上下） ワンタッチ 〈呼出音〉 （受話器） 〈通話中〉

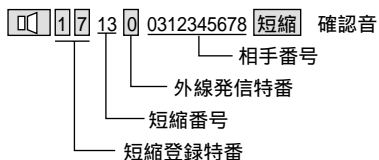
※D-station31A2/31Bには 上下 ボタンはありません。ワンタッチでダイヤルを使用してかける場合には、上記説明で 上下 ボタンを抜いてください。

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

短縮ダイヤルを登録するとき

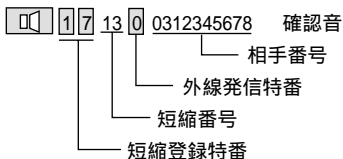
(1) 個別／可変短縮番号の登録
（グループごと、あるいは電話機ごとに登録できます）

E-200系のとき

・短縮番号「13」に03-1234-5678を登録するとき

ディスプレイ表示

0312345678　　完了

IP Pathfinder系のとき

・短縮番号「13」に03-1234-5678を登録するとき

ディスプレイ表示

171300312345678 完了

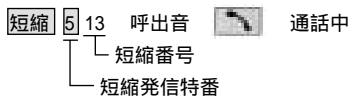
(2) 共通／固定短縮番号の登録は電話機ごとにはできません。
変更や新しく登録するときは、システム管理者の方にお知らせください。

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

短縮ダイヤルを使ってかけるとき

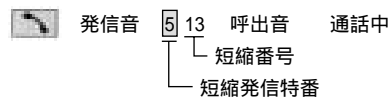
(1) 個別／可変短縮ダイヤル
（グループごと、あるいは電話機ごとに使える短縮番号です）

E-200系のとき

・短縮番号「13」に03-1234-5678が登録されているとき。

ディスプレイ表示

0312345678	10円
	00:05

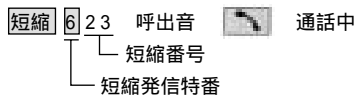
IP Pathfinder系のとき

・短縮番号「13」に03-1234-5678が登録されているとき。

ディスプレイ表示

00312345678
10円　00:00:05

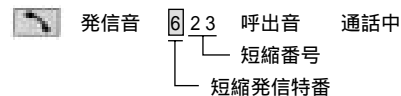
(2) 共通／固定短縮ダイヤル
（どの電話機からでも使えるシステム共通の短縮番号です）

E-200系のとき

・短縮番号「２３」に03-1234-5678が登録されているとき。

ディスプレイ表示

0312345678	10円
	00:05

IP Pathfinder系のとき

・短縮番号「２３」に03-1234-5678が登録されているとき。

ディスプレイ表示

00312345678
10円　00:00:05

※固定機能ボタンに無いボタンは、フリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、システム管理者へおたずねください。

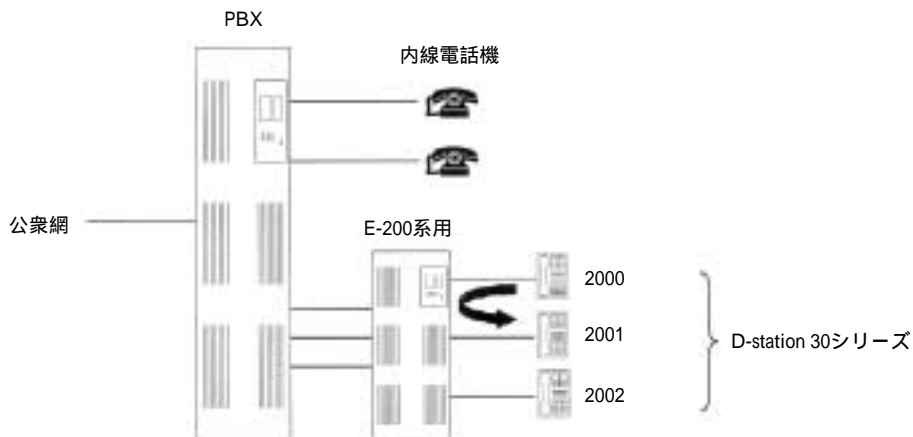
呼出音の音色を切り替えるとき

《呼出音の音色切り替え方法について》

以下の場合において呼出音の音色が上手く切り替えられない場合があります。
・システム構成として下記に示すE-200系用*1を他PBXの内線へ接続（セクションマシン使用）する場合

〈呼出音の音色を切り替える場合には〉

E-200系用に接続されているD-station30シリーズ電話機間（内線相互間：例えば、内線番号2000から内線番号2001へ発信する。）にて音色を切り替えたい内線に着信させて𝄞ボタン（トーンボタン）を押下し、呼出音の音色切り替え操作をして頂くことをお勧めします。
上記方法以外の着信に対して𝄞ボタンを押下した場合、ディスプレイ表示が電子電話帳の画面（P.25 (1)①参照）に切り替わることがありますが、再度𝄞ボタンを押すことによりディスプレイ表示は元に戻ります。誤操作ではありませんのでご注意してください。

*1：E-200系用　～ES200シリーズISS全機種、E-200シリーズISS全機種、E-210、CM50、MS16

※システム構成が分からない場合には、お買い上げ頂いた販売店にお問い合わせください。

電子電話帳の操作

よく利用する電話番号を、名前と一緒に登録できます。
前もって登録しておくと、少ないボタン操作で目的の電話番号を呼び出すことができて便利です。
登録件数は最大50件です。
※電子電話帳の操作は、受話器を置いた状態でのみ操作できます。
※電子電話帳モード中に電子電話帳以外のボタン（P.27参照）を押下すると電子電話帳モードから解除されてしまいますのでご注意してください。
※電子電話帳モード中に着信があった場合には、受話器を上げると通話できます。（ハンズフリー付電話機の場合はスピーカボタンを押下されても通話できます。）また、相手先番号を確認してから通話する場合には、一度電子電話帳モードから抜けると着信画面に切り替わります。(登録／修正画面の場合は、電話帳ボタンを２回押下、発呼画面(電話帳表示画面)の場合は、電話帳ボタンを１回押下してください。)
※本機能は、本体装置のパッケージ版数によりご使用できない場合があります。お買い上げの販売店へご確認ください。

(1) 電子電話帳の登録方法

①電話帳ボタンを押下し(電子電話帳モードへ移行)、カナ／英字ボタンより入力モードを選びます。
- カナ入力モード：ディスプレイ上に「カナ」と表示され、カタカナ入力をすることができます。
- 英字入力モード：もう１回カナ／英字ボタンを押すと、「AL」と表示され、英字を入力することができます。
- 数字入力モード：さらに、もう１回カナ／英字ボタンを押すと、「№」と表示され、数字を入力することができます。

ｶﾅ　ﾅﾏｴ？ _

AL　ﾅﾏｴ？ _

№　ﾅﾏｴ？ _

②名前を入力します。
- お好みの入力モードを選び、ダイヤルボタンで名前を入力してください。
- 文字は10文字まで入力できます。
- 濁点半濁点も１文字として表示されます。
- 名前の入力が終わったら登録ボタンを押下します。名前を入力しない場合はそのまま登録ボタンを押します。

ｶﾅ　ﾅﾏｴ？ ﾌｼﾞﾂｳ

③電話番号（外線の場合は、外線発信特番と電話番号）を入力します。
- 押したボタンの数字は左下から順に表示されます。
  （最大30桁まで入力できます、31桁目からは受け付けません。）
- 電話番号の入力が終わったら登録ボタンを押します。

TEL　№？ 0123456789_

ﾄｳﾛｸ　ｶﾝﾘｮｳ　ﾉｺﾘ　xx

xx：残り登録可能数

これで電子電話帳１件分の登録が終了しました。電話帳ボタンを２回押すと電子電話帳モードから解除されます。
続けて２件目以降を登録する場合には、カナ／英字ボタンより入力モードを選び②、③の操作を繰り返せば登録できます。
51件目を登録しようとした場合には、アラーム音（ピピピ）とともにメッセージが表示され電子電話帳モードから解除されます。この場合、すでに登録されている電子電話帳のなかで不要なものを削除した後、最初から電子電話帳の登録をやり直してください。

ｱｷ　ﾒﾓﾘ　ﾅｼ

(2) 電子電話帳の発信方法

登録した電子電話帳を呼び出して電話をかけます。

(a) 名前の検索機能で呼び出します。

①電話帳ボタンを押下し（電子電話帳モードへ移行）、カナ／英字ボタンより入力モードを選びます。
②名前を入力します。（検索する名前はフルネームを入力しなくても構いません。）
③電話帳ボタンを押下します。
（検索条件を満たす電子電話帳が表示されます。）
- ▽ボタンを押下すると、検索条件を満たすもののみ、順番に表示されます。
- △ボタンを押下すると、逆の順番で表示されます。
- 検索条件を満たす電子電話帳が登録されてない場合には、アラーム音（ピピピ）とともにメッセージが表示され電子電話帳モードから解除されます。

ｶﾅ　ﾅﾏｴ？ _

ｶﾅ　ﾅﾏｴ？ ﾌ

0123456789 ﾌｼﾞﾂｳ

ｶﾞｲﾄｳ　ﾃﾞｰﾀ　ﾅｼ

④目的の名前（電話番号）が表示されたら、受話器を上げるかまたはスピーカボタンを押下します。
表示された電話番号へ電話がかかります。

⑤電子電話帳からの発信を取り止める場合には、再度電話帳ボタンを押します。

※名前入力の無い電子電話帳を検索する場合には、(b)スクロール機能にて検索してください。

(b) スクロール機能で呼び出します。

①電話帳ボタンを１回押して、登録画面を開きます。
または電話帳ボタンを２回押して、電話帳表示画面を開きます。

ｶﾅ　ﾅﾏｴ？
_

②▽ボタンまたは△ボタンを押します。目的の名前・電話番号が表示されるまでボタンを押下してください。

0123456789
ﾌｼﾞﾂｳ

・検索順序は次の通りです。
1）空白で始まるもの
2）カタカナ（５０音順）
3）アルファベット順（大文字が優先）
4）数字
5）名前入力なし（電話番号のみ）

③目的の電話番号が表示されたら、ハンドセットを上げるかまたはスピーカボタンを押下します。
表示された電話番号へ電話がかかります。

④目的の電話番号が表示された状態で電子電話帳からの発信を取り止める場合には、再度電話帳ボタンを押下します。

(3) 電子電話帳の修正方法

①修正する電子電話帳を表示させます。
名前の検索、スクロールの検索のいずれかの検索方法で、修正する電子電話帳を表示させます。

0123456789
ﾌｼﾞﾂｳ

②カナ／英字ボタンを押します。（名前を修正します。）

ｶﾅ　ﾅﾏｴ？
ﾌｼﾞﾂｳ

③＃(＞)ボタンまたは＊(＜)ボタンを押下して、カーソルを修正する文字に合わせます。

④訂正する文字を入力します。
・不要な文字を削除する場合は、削除する文字の１つ右にカーソルを移動させ、クリアボタンを押すと文字が１文字消えます。また、クリアボタンを約２秒押下すると全ての文字が消えます。
・名前の修正が終わったら登録ボタンを押します。名前を修正しない場合にはそのまま登録ボタンを押下します。

⑤正しい電話番号を入力します。
・クリアボタンを押して訂正する電話番号の数字までを消します。
・クリアボタンを約２秒押し続けると全ての数字が消えます。
・電話番号の入力が終わったら登録ボタンを押します。電話番号を修正しない場合にはそのまま登録ボタンを押します。
・自動的に元のメモリ番号に修正されて登録されます。

TEL　№？
0123456789_

ﾄｳﾛｸ　ｶﾝﾘｮｳ　ﾉｺﾘ　xx

xx：残り登録可能数

(4) 電子電話帳の削除方法

登録してある電子電話帳を削除します。

①削除する電子電話帳を表示します。
名前の検索、スクロールの検索のいずれかの検索方法で、削除する電子電話帳を表示させます。

0123456789
ﾌｼﾞﾂｳ

②登録ボタン、クリアボタンの順に押下します。
表示されたデータを削除するかどうかのメッセージが表示されます。

ﾃﾞｰﾀｻｸｼﾞｮ？　YES-1／NO-0

③削除する場合はダイヤルボタン１を押下します。
削除したことをお知らせします。

ｻｸｼﾞｮ　ｶﾝﾘｮｳ

④削除しない場合はダイヤルボタン０を押下します。
削除を中止したことをお知らせします。

ｻｸｼﾞｮ　ﾁｭｳｼ

(5) 電子電話帳で使用する各ボタンの割り当て文字

ダイヤルボタンで入力できる文字は、ボタンを押すごとに以下のように変わります。

例）「ウ」を入力するには、「カナ」入力モードにしてダイヤルボタン１を３回押下します。
　　「B」を入力するには、「英字」入力モードにしてダイヤルボタン２を２回押下します。

ボタン＼モード	カタカナ	英　字	数　字
1	→ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ→		1
2	→カ→キ→ク→ケ→コ→	→A→B→C→a→b→c→	2
3	→サ→シ→ス→セ→ソ→	→D→E→F→d→e→f→	3
4	→タ→チ→ツ→テ→ト→ッ→	→G→H→I→g→h→i→	4
5	→ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→	→J→K→L→j→k→l→	5
6	→ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→	→M→N→O→m→n→o→	6
7	→マ→ミ→ム→メ→モ→	→P→Q→R→S→p→q→r→s→	7
8	→ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ→	→T→U→V→t→u→v→	8
9	→ラ→リ→ル→レ→ロ→	→W→X→Y→Z→w→x→y→z→	9
0	→ワ→ヲ→ン→゛→゜→ー→・→?→!→□→	→.→’→—→:→&→／→(→)→¥→#→*→□→	0
*	←（カーソルの左移動）		
#	→（カーソルの右移動）		
電話帳	電子電話帳モード設定／解除		
カナ／英字	文字入力モード変換		
登録	電子電話帳データの登録決定		
クリア	２秒未満の押下：カーソルの左の文字を１文字削除 ２秒以上の連続押下：入力文字全削除		

□：空白を示します。

※名前の入力例（「スズキ」と入力する場合）

①カナ／英字ボタンを押下して、カナ入力モードにします。

カナ　ﾅﾏｴ？
_

②ダイヤル３を３回押下します。
　「ス」が表示されます。

カナ　ﾅﾏｴ？
ｽ

③#（>）ボタンを押下します。
・続けて同じボタン上の文字を入力するときには、#（>）でカーソルを一つ右に移動させてください。
・次に入力する文字が、違うボタン上にあるときは、そのボタンを押下するとカーソルは自動的に右に移動します。

カナ　ﾅﾏｴ？
ｽ_

④ダイヤル３を３回押下します。

カナ　ﾅﾏｴ？
ｽｽ

⑤ダイヤル０を４回押下します。

カナ　ﾅﾏｴ？
ｽｽﾞ_

⑥ダイヤル２を２回押下します。

カナ　ﾅﾏｴ？
ｽｽﾞｷ

⑦名前の入力が終わったら登録ボタンを押下します。
これで名前の入力が終了しました。

ＬＣＤ表示部　チルト機構の操作について

ＬＣＤ表示内容が見づらい場合にＬＣＤ表示部を立ててご使用になると見やすくなります。
以下にＬＣＤ表示部の操作方法について記載します。
※ＬＣＤ表示部の可動は１段階のみとなります。

【ＬＣＤ表示部を立てる場合】
A 手のひらの下部をＬＣＤ表示部の下部に置きます。
B 手のひらの下部を軸として、ＬＣＤ表示部上部を上方向へ押すように可動させます。

注意）上記と異なる方法でＬＣＤ表示部を可動させると、上手く可動しない場合があります。
　　　ご注意願います。

A

B

【ＬＣＤ表示部を寝かせる場合】
A 手のひらの下部をＬＣＤ表示部の下部に置きます。
B 手のひらの下部を軸として、ＬＣＤ表示部上部を下方向へ押すように可動させます。

注意）上記と異なる方法でＬＣＤ表示部を可動させると、上手く可動しない場合があります。
　　　ご注意願います。

A

B

カラーシートの使いかた

透明パネルの下にカラーシートが入っています。
カラーシートには、フリーアサインボタンに設定した内容（ワンタッチダイヤルの宛先など）を記入してご使用になられますと便利です。
また、添付していますキー表示シールもご利用ください。

透明パネルを外す場合は、下図のように電話機の手前側（○で囲んでいる部分）を矢印方向に透明パネルを上げると簡単に取り外すことができます。

故障かなと思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次の点を確認してください。それでも直らないときは、システム管理者の方にご相談ください。

こんなときには	もう一度確認してください	参照ページ
電話がかからない 受けられない	・ＡＣアダプタまたは電話機コードは正しく接続されていますか？ ・電池パックは正しく取り付けられていますか？ ・電池パックは、充分に充電されていますか？ ・子機が別の親機の上に置かれてませんか？ ・親機から子機が離れ過ぎていませんか？ ・子機の状態確認ランプが圏外（遅い赤点滅）ではありませんか？ ・停電ではありませんか？電源は供給されていますか？ ・近くに雑音を発生する機器がありませんか？	P.12／13 14／15
通話が時々途切れる	・電波の状態の悪いところにいませんか？ ・電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.13／15
キー確認音が鳴らない	・電池パックは、充分に充電されていますか？ ・親機や子機の充電端子が汚れていませんか？	P.15
充電しても、すぐに警告音が鳴る	・親機のＡＣアダプタまたは電話機コードが抜けていませんか？ ・電池パックの寿命がきていませんか？	P.14／15
子機を親機に戻しても子機の状態確認ランプが点灯しない	・親機や子機の充電端子が汚れていませんか？ ・親機のＡＣアダプタまたは電話機コードが抜けていませんか？ ・極端に寒いところで使用していませんか？ ・電池残量なしの場合、子機の状態確認ランプ点灯までに数分かかることがあります。	P.12／14

●電話機の仕様

○：機能あり，×：機能なし，ＯＰ：オプション

機能 ＼ 機種	D-station 31A2	D-station 31B	D-station 32BW	D-station 32BB	D-station 32D	D-station 32PA	D-station 32PB	D-station 32CC
E-200系用	○	○	○	○	○	○	○	○
IP Pathfinder系用　注1)	○	○	○	○	○	○	○	○
E-3900シリーズCCS，E-390	―	―	―	―	○	○	○	―
フリーアサインボタン数　注2)	12	12	23/24	23/24	23/24	23/24	23/24	23/24
ディスプレイ表示	×	英数カナ	英数カナ	英数カナ	漢字	漢字	漢字	漢字
録音ジャック	×	○	○	○	○	○	○	○
ハンズフリー機能	×	×	×	×	○	×	×	×
アナログモデムポートアダプタ　注3)	×	ＯＰ	ＯＰ	ＯＰ	ＯＰ	×	×	×
停電機能　注4)	×	×	×	×	×	アナログ	INS	×
電子電話帳	×	○	○	○	○	○	○	○
着信ランプ	○	○	○	○	○	○	○	○
壁掛け	○	○	○	○	○	○	○	×
カールコードレス	×	×	×	×	×	×	×	○

注1）Ｅ-3900シリーズＣＣＳ全機種，Ｅ-390を除く。

注2）23ボタン数：IP Pathfinder系用（上下切り替えボタン１つ除く為）
　　24ボタン数：Ｅ-200系用

注3）アナログモデムポートアダプタの条件はプッシュボタンを使って発信する発信専用です。

注4）停電時には、**外線へかける・外線に応答する**以外の機能（ディスプレイ表示・内線通話など）は、使用できません。

アフターサービスについて

万一、製品などに不具合が生じた場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

１．修理を依頼されるときは

●保証期間中

保証書に記載されている当社無料修理規程に基づき修理いたします。

●保証期間外

修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有料修理いたします。

●ご注意

・メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、必ずお控えください。
　なお、メモリの内容などが変化、消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社では
　一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

２．補修用性能部品の保有期間について

当社はこの電話機およびその周辺機器の補修用性能部品を製造終了後最低７年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

注　意

本製品は、海外為替及び外国貿易管理法が定める規制貨物に該当します。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

富士通株式会社

※製品改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2004年5月　T101-0518-03

付　録

接続対象の PBX 機種について

本書内 (P3,P10,P11) に記載しております PBX 機種は、本書発行 2004 年 5 月時点のものです。本付録を作成した 2008 年 10 月までに、接続対象の PBX 機種が増えておりますので、ご確認ください。
尚、フリーアサインボタン数、ディスプレイ表示内容等は、機種により異なりますので詳しくは E-200 系 /IP Pathfinder 系用に添付されている取扱説明書をご覧ください。

■ E-200 系用

ES200 シリーズ ISS 全機種、E-200 シリーズ ISS 全機種、E-210、CS100、CM50、MS16、IP Pathfinder RM10S GSM シリーズ

■ IP Pathfinder 系用

IP Pathfinder 全機種 (RM10S GSM シリーズは除く)、ES3300 i-force 全機種、E-3200 シリーズ ISS 全機種、E-350、E-3900 シリーズ CCS 全機種、E-390

特番・短縮番号について

本書に記載した各種「特番」、「短縮番号」は一例を示しています。ご使用になるときは、システム管理者から通知された番号をご使用ください。通知がない場合はシステム管理者にご確認ください。
下記に代表的な特番、短縮番号について説明します。

■特番

名称	システム管理者登録	お客様登録	内　　容
局線発信特番	○		局線にかけるとき、この番号を押すと局線に接続できます。 例：０３－１２３４－５６７８にかけるとき ０－０３－１２３４－５６７８ ↑―― 局線発信特番
専用線発信特番	○		専用線にかけるとき、この番号を押します。 例：専用線番号７１の事業所にかけるとき ７１－１２３４ ↑　内線番号 └―― 専用線発信特番

■短縮番号

名称		システム管理者登録	お客様登録	内　　容
固定短縮	短縮番号	○		短い番号を押すだけで、よくかける相手を簡単に呼び出すことができます。全員で共通に使える番号で、システム管理者等が番号登録を行います。個人で勝手に変更はできません。
	発信特番	○		固定短縮ダイヤルを使ってかけるときに、短縮番号の前にダイヤルする番号です。 例：固定短縮番号２３に登録された相手にかけるとき ６－２３ ↑―― 発信特番
可変短縮	短縮番号		○	短い番号を押すだけで、よくかける相手を簡単に呼び出すことができます。システム管理者が設定した範囲（例えば００～１９）内で、電話機ごとに登録することができます。
	登録特番	○		可変短縮番号を登録するときに、登録する短縮番号の前にダイヤルする番号です。 例：０３－１２３４－５６７８を短縮番号１３に登録するとき １７－１３－０－０３－１２３４－５６７８ ↑―― 登録特番
	発信特番	○		可変短縮番号を使ってかけるときに、短縮番号の前にダイヤルする番号です。 例：可変短縮番号１３に登録された相手にかけるとき ５－１３ ↑―― 発信特番

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原　因	確認してください
ボタンのランプが消えない	（局線ランプ、内線ランプなど） ハンドセットが外れている	ハンドセットを正しい位置に置いてください
	（局線ランプ、転送ランプなど） 自分または、他の人が保留したままになっている	ハンドセットを上げ、ボタンを押して使用中かどうか確認してください
	（待ち合わせ、不在転送など） 登録を解除していない	各種ボタンごとの解除方法で登録を解除してください
電話機から変な音が出ている	ハンドセットが外れている	ハンドセットを正しい位置に置いてください
ボタンを押してもランプがつかない	ランプがつかないボタンを押した	ワンタッチ、短縮などの機能ボタンはランプがつきません
ハンドセットを上げても発信音が聞こえない、または、通話中に相手の声が聞こえなくなった	電話機やハンドセットのコードが外れている	外れている場合は、いったんハンドセットを戻し、電話機から電話機コードを抜いて、もう一度差し直してください
	上記以外	お買い上げになった販売店へご相談ください
再呼ボタンが光ったままで、それを押すと最後に電話した相手ではなく、ある特定の相手にかかる	セーブナンバーダイヤルが登録されている	別の発信通話中に、点灯している再呼ボタンを押すと解除できます。詳細はE-200系PBXに添付されている取扱説明書をご覧下さい。（尚、IP Pathfinder系では、この機能をお使いになれません）
突然、着信しなくなった	不在特番をダイヤルした	E-200系は、不在特番の初期値が登録:114、解除:154に設定されております。解除特番をダイヤルして不在状態を解除してください（尚、IP Pathfinder系では、初期値を持っておりません。解除特番がご不明の場合は、お買い上げ頂いた販売店にお問い合せください）